



戸 来 伝
(終の会)

焼山地区の活性化策は

花と温泉とアートで

議員 奥入瀬焼山地区活性化基本構想の考え方と具体的な進め方は。

市長 焼山地区は現代美術館、新渡戸記念館などの市街地や八甲田地区から十和田湖、奥入瀬溪流方面へ向かう際の間地点に位置し、交通の利便性があることから、焼山地区の活性化が当市全体と関係しています。市では花と温泉とアートをテーマに、今年度において基本構想と基本計画を策定し、総合的な観点から新たな魅力づくりに取り組んでいきます。

観光商工部長 基本構想及び基本計画策定業務については、公募型プロポーザルにより選定した事業者に委託します。基本構想策定後は、地域住民を初めとし、広く市民の意見等を伺い、基本計画を策定します。

議員 スキー場周辺で行う、花の整備の内容は。

議員 スキー場における花の整備については、造園業者にヒマワリやシバザクラなど試験植栽の委託をし、育成状況等の調査を行います。また、温泉郷内での花の活用については、地元町内会や事業者等を会員とする奥入瀬温泉活性化協議会が主体となり、道路や広場で花を飾る計画になっていると聞いています。

議員 (仮称)市民交流プラザについて、全社が入札を辞退した原因は。

議員 (仮称)市民交流プラザについて、全社が入札を辞退した原因は、資材、労務費の高騰と、中央と地方での仕事のやり方について設計事務所に認識のずれがあったことなどにより、見積りによる設計価格と実勢価格に大きな乖離があったためです。

議員 市外には、当初の予定価格でも建築できる業者があったのではないか。

副市長 市内の業者に工事を発注したいという思いで進めています。これにより、労務費や賃金等で還元され、地域の活性化につながるかと考えています。

町内にも花を飾り、魅力アップを図る焼山



町内にも花を飾り、魅力アップを図る焼山

大型養豚場 市の考えは

県と連携し、適正に対応



今 泉 勝 博
(市政・社民クラブ)

議員 仙ノ沢地区に建設が予定されている大型養豚場について、市長の見解は。

市長 本市は米、野菜、畜産物等の生産バランスが取れた中で、農業が基幹部門として発展してきました。また、畜産は耕種

農業との有機的な連携による資源循環型農業を推進する上で大きな役割を担っていると考えています。今回の養豚場建設については、水質の汚染や環境への影響が懸念されることなどから、処理水を河川放流することに反対し、建設中止が求められています。私は、市民の安全、安心の推進、生活環境を守る一方で、市の基幹産業である畜産業の振興推進も必要と考えています。このことから、養豚場の建設に当たっては、事業者が地域等へ十分に説明をし、地域の方々の理解を得ながら進めることが何よりも重要と考えています。市としては、県と連携しながら適正に対応していきたくないと考えています。

議員 公害対策は。

民生部長 水質汚濁等の公害対策については、厳しい排水基準などを踏まえた県の環境影響評価制度に基づく許認可がなされた場合には、公害問題は発生しないと考えています。

議員 飲料水への影響や、イメージが良くないのでは。

上下水道部長 処理水が放流される片淵川と奥入瀬川が合流する新田地区には、水道水の源地地が3カ所あります。ここでは地表水ではなく、地下水を取水し、浄水場で消毒処理を施して毎戸へ給水しています。このため現段階では水道水への影響を結論づける状況にはないと考えています。また、計画では、排出される処理水は、水質汚濁防止法の排出基準内であることから、イメージのみで水道事業への影響を判断することは好ましくないと考えています。



片淵川と奥入瀬川合流点 (大堀橋から)